

2025年度 立命館大学エクステンションセンター講座

R 情報系学生対象 公務員講座

RITSUMEIKAN

情報系の「専門性」を活かせる情報系公務員を目指そう！

●公務員という働き方

国民や住民がより快適に生活できるよう、制度・環境を整えるのが公務員の仕事です。国全体や地域の方向性を示し、そのグランドデザインを描くようなスケールの大きい仕事から、直接国民や住民に関わり、目の前で困っている人を救済する仕事まで、まさに国民一人ひとりの幸せのため、幅広い職務に携わります。

●合格で広がる“将来の可能性”

公務員試験は、試験日程が異なれば併願することができ、かつ、受験料もかかりません。また、試験種が異なっても、共通して出題される科目が多くありますので、国家公務員総合職試験の対策をすることで、他試験の併願もしやすくなります。また、国家公務員総合職・一般職は合格後5年間有効のため、大学院進学後の採用等、将来の選択肢も広がります。

●情報系学生向けの精選されたカリキュラム

本講座では多くの公務員試験で出題される共通科目である教養科目で構成され、情報系学生が情報系公務員試験に合格するための必要な知識・力量を効果的に修得できるカリキュラム内容となっています。情報系公務員試験の専門科目は、情報系学生の皆さんが情報系の正課科目で学んでいる内容を活かすことができ、正課授業、研究にしっかり取り組むことが効果的です。また、論文や面接等の人物試験対策も行うことができる安心のカリキュラムです。

※本講座は、大卒程度及び院卒者試験の、「デジタル区分」の試験を想定しています。その他の試験区分での受験を希望する方は、別途対策が必要となりますので、エクステンションセンターにご相談ください。

申込期間	開講期間	受講料
<p><u>2025年10月1日(水)</u> <u>～10月24日(金)17:00</u></p> <p>※申込方法については、 P.11「申込のステップ」をご覧ください。</p> <p>※申込期間を過ぎて受講を希望する場合、 BKC エクステンションセンター（下記枠内参照）に電話でご相談ください。</p>	<p><u>2025年5月16日(金)～</u> <u>2026年5月</u></p> <p>※動画配信の講義のため、 開講途中からの受講が可能です！</p> <p><秋学期クラスセミナー（クラスセミナー4）> ■日時：10月27日(月)18:30～20:00 ■場所：OIC H202（対面実施）</p> <p>※クラスセミナーや判定試験・模擬試験一部を除き、 講義は動画配信で視聴いただけます。皆さんの予定、ライフスタイルに合わせ、受講できます。 （詳細はエクステンションセンターHPに掲載する日程表をご確認ください。）</p>	<p><u>19,800円(税込)</u></p> <p>※クラスセミナーや補講、動画視聴やメール質問、模擬試験代なども含まれます。</p> <p>※教材費は別途必要(6,000円程度)です。なお、教材費は変更となる場合があります。</p>

※本講義は、情報系の専門科目を履修している、もしくは「応用情報技術者試験」以上の情報系の専門知識があることを前提とした講座となっていますので、ご注意ください。

立命館大学エクステンションセンター

問い合わせ先：BKCキャリアセンター 【BKC/プリズムハウス2F】

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1

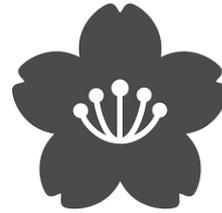
TEL：077-561-2853 MAIL: bkohmuin@st.ritsumeikan.ac.jp

※衣笠・OICの学生でご質問等がある方は、電話・メール等でお問い合わせください。

抜群の合格実績！！！！

■国家公務員総合職（春試験分）出身大学別最終合格者数

84名（全国3位、私大1位）



順位	大学名	合格者数
1	東京大学	189
2	京都大学	120
3	立命館大学	84
4	東北大学	73
5	早稲田大学	72
6	千葉大学	63
7	北海道大学	58
8	大阪大学	58
9	広島大学	55
10	慶應義塾大学	51

＜総合職内定先＞

内閣府 2名、総務省 2名、
法務省 2名、外務省 1名、
国土交通省 5名、環境省 1名、
厚生労働省 2名、特許庁 1名
農林水産省 2名、財務省税関 1名、
こども家庭庁 1名

■国家公務員総合職（教養区分） 2名合格

■国家公務員試験（総合職以外）本学最終合格者数

・外務省専門職員	1名	・国税専門官	100名
・国家公務員一般職	160名	・財務専門官	9名
・裁判所職員総合職	2名	・労働基準監督官	7名
・裁判所職員一般職	33名	・法務省専門職	11名

■地方公務員試験・本学示唆悠合格者数（関西エリアの一部を抜粋）

・京都府 35名	・大阪府 15名	・兵庫県 7名*	・滋賀県 19名
・京都市 54名*	・大阪市 31名	・神戸市 4名	

*2023年度実績。2024年度実績の判明後、更新予定です。

※上記は立命館大学に在籍する学生と卒業生の合格実績であり、エクステンションセンター公務員講座を受講していない学生・卒業生を含みます。

エクステンションセンター公務員講座が選ばれる理由



Point

立命館学生のための専用プログラム

- 講義はすべてオンラインでの動画配信するため、自分の好きな時に視聴することができます。正課授業や研究等で忙しい理系の皆さんにとって、ライフスタイルに合わせて講座を受講することができます。
- 講座担当の講師に個別にメールや電話で相談でき、アドバイスをもらうことができます。



Point

精選されたカリキュラム

- すべての試験科目を網羅的に学習するのではなく、情報系学生にとって公務員試験合格に必要な知識・力量を効果的に修得できるカリキュラム内容となっています。
- 受講できるのは立命館の学生・卒業生だけです。これまでの本学公務員講座受講生が理解しやすかった点、躓きやすかった点をおさえた効果的・効率的な対策を行います。
- 「人物試験対策講座」（無料）も用意しておりますので、面接や集団討論などの人物試験への対策も万全です。



Point

安心して受講できる価格設定

- 一般の専門学校等の受講価格よりかなり安い金額に設定、みなさんの金銭的負担の軽減をはかります。



Point

快適な学習環境の場を提供

- Web 上にて講義動画を視聴できるため、大学の授業の合間や自宅で学習を進めることもできます。
- 国家公務員総合職や外務省専門職を受験予定の受講生に対しては、個別学習机や PC を備えたミーティング室などを備えた自習室（有料/選抜制）を用意し、学習に集中できる環境を提供しています。



Point

圧倒的な情報量・ノウハウ

- クラスセミナー（全受講生が参加）では、公務員試験の最新情報や併願方法などのノウハウに加え、過去の本学公務員講座受講生の状況を踏まえての合格に向けてのアドバイスを行います。
- 国家公務員総合職を中心に過去問題を 10 年以上保管。試験に関するあらゆる情報をエクステンションセンターで集約し、皆さんに提供しています。
- 過去に公務員試験を受験し、見事合格を果たした先輩の「受験記録」や「就職活動記録」を閲覧できます。直接話を聞きたければ、メールや電話でコンタクトをとることも可能です。



Point

内定者・OBOG の強力サポート

- 公務員試験に合格し、進路を決定した先輩の話聞ける機会や受験相談できる機会を提供します。
- 大学内で OB・OG を招聘した企画も実施します。様々な省庁や自治体で働く先輩方の話を聞くことで、公務員の業務理解や、学習のモチベーション UP につなげることができます。



Point

充実の奨学金制度

- エクステンションセンター特別奨励生制度
⇒本講座の受講生（受講予定含む）で、一定の条件を満たした学生については講座受講料相当額を支給する制度です。多くの学生が、経済的負担を抑え公務員講座を受講しています。詳細は、エクステンションセンター特別奨励生募集要項を確認してください。
- 立命館大学西園寺記念奨学金（難関試験分野）
⇒立命館大学（大学院）在籍中に、国家公務員総合職試験などの難関試験に合格した方が対象となる奨学金です。奨学生の人数や選考方法、支給額（2024 年度支給実績は 30 万円）などは年度により異なる場合があります。詳細は当該年度 12 月頃に配布する募集要項にて確認してください。

各種公務員試験について

公務員と一言で言っても、その職種や仕事内容・試験制度は様々です。公務員試験対策を始める前に、まずはどの分野でこういった仕事をしていきたいのか、併願先も含めて考え、それに向けた対策を行いましょう。

国家公務員総合職

国の中央省庁の幹部（キャリア）として、社会・経済・国際関係・科学技術など、様々な分野において政策を立案・企画し、日本を動かす仕事に携わることができるのが「国家公務員総合職」です。政策の企画立案等の高度知識、技術または経験を必要とする業務に従事し、国内外のグローバルな舞台で様々な仕事を経験することで、国の仕組みの根幹である政策の企画立案や技術研究といった責任ある仕事を任せられます。

国家公務員一般職

中央省庁の中堅職員あるいは地方出先機関の幹部候補として採用される職員です。主として事務処理等の定型的な業務に従事することが求められ、国家公務員総合職が政策を作る上で必要なデータの収集や政策の実行、労務管理などのサポート役や特定分野の専門スタッフとして働くことが期待されています。

国税専門官

国の財政基盤を支える租税収入の公平で円滑な確保を目指し、税務行政の第一線で活躍するスペシャリストとして、各地方の国税局や税務署に勤務します。国税庁では基幹システムの刷新や税務・徴収におけるデータ分析を行うことができる人材を必要としており、B 区分（理工・デジタル区分）試験の実施により、情報系分野の学生の採用を強化しています。

労働基準監督官

労働基準監督官は全国の労働者の生命と健康を守るため、労働条件の確保・向上や労災補填業務など、労働基準行政の第一線で活躍しています。具体的には工場や事業場などに立ち入り、機械・設備や帳簿などを検査して労働条件の調査をしたり、悪質な事業主等に対するの捜査・検察庁への送検、事業場の安全衛生管理体制の確立のための指導などを行います。広範囲に渡るため、労働法等の法律はもちろん、土木、建築、化学など技術的な知識をもった人材が必要とされています。

地方公務員上級職

地方公務員のうち、各都道府県庁、東京都特別区、政令指定都市の職員採用試験が上級として分類されます。国の施策に沿いながらも、地方の実情に即した行政サービスを実施し、より住民に身近な存在として活躍ができます。また、一つの分野にとどまらず、地域に密着した様々な分野での仕事が経験できます。技術職においては、道路・橋の施設、港湾整備、公共施設の管理・整備や水質管理などの環境保全等の技術的な業務から、技術系の知識、経験を活かして行政の企画・立案に携わることもあります。

警察官・消防官

都道府県ごとに採用試験が行われ、採用された地域での勤務・異動となります。試験日程も各自治体により異なり試験回数も複数行われることがありますので、多くの受験機会があります。警察官については、科学捜査研究所の採用や、警察官・消防官における技術職採用が一部の自治体で行われているなど、技術系としての仕事があります。

※警察官・消防官試験については、TAC 株式会社および学校法人大原学園の「警察官・消防官講座（提携講座）」を用意しています。別途、募集要項を確認してください。

国立大学法人等職員

国立大学法人の技術職員として、主に施設系の業務や教室系の業務に携わります。施設系の業務では大学のキャンパス設置されている校舎や図書館等の建物の設計・施工・保守管理やキャンパスのデザイン等を行います。教室系の業務では、大学の教育・研究を円滑に進めるために、実験装置の製作や学生の学習支援、実験データの収集・分析や実験設備の安全管理などを行います。なお、平成 16 年 4 月に文部科学省が設置する国の機関から独立した法人格を持つ「国立大学法人」へと変更となり、それに伴って、職員の身分が国家公務員から非公務員となっています。

国家公務員総合職試験について

■国家公務員総合職試験の制度

- 国家公務員総合職試験は、政策の企画立案等の高度な知識、技術または経験等を必要とする業務に従事する職員の採用試験です。
- 国家公務員総合職試験は、「院卒者試験（M2以上）」と「大卒程度試験」に分けられ、技術系では、それぞれの試験において、以下の区分から選択して受験することができます。

試験種	区分
院卒者試験／大卒程度試験	デジタル／工学／農業科学・水産／化学・生物・薬学／数理学・物理・地球科学 など

※本講座は、大卒程度及び院卒者試験の、「**デジタル区分**」の試験を想定しています。その他の試験区分での受験を希望する方は、別途対策が必要となりますので、エクステンションセンターにご相談ください。

- 【参考】「大卒程度試験」には秋に実施される「教養区分」という試験があり、受験資格が19歳のため（他区分は21歳以上）、大学2回生の秋から受験することが可能です（合格後6年6ヵ月有効）。

■国家公務員総合職試験の選考プロセス

- 国家公務員総合職試験は、人事院主催の1次試験（筆記）、2次試験（筆記・面接）が課され、それらを通過すると「最終合格」となり、「採用候補者名簿」に登載されます。
- 「最終合格＝採用内定」ではありません。合格後に希望する省庁を訪問し、面接やグループディスカッションなどの選考を繰り返す「官庁訪問」において、内々定を得る必要があります。
- 春の総合職試験の最終合格有効期間は**5年間**で、これを利用すると、大学4回生時に合格し、大学院M2回生の際に官庁訪問することも可能となります。博士課程への進学、民間就活後にも選択肢が広がります。

【参考／2025年度日程】

1次試験	筆記	基礎能力試験・専門択一試験	3月16日(日)
	筆記	専門記述試験・政策論文試験	4月13日(日)
2次試験	人物	政策課題討議・個別面接	4月21日(月)～5月16日(金)【学部】
			5月7日(水)～5月16日(金)【院】
最終合格発表			5月30日(金)
官庁訪問			6月11日(水)～6月23日(月)
内々定解禁			6月23日(月)

■「国家公務員総合職」と「国家公務員一般職」の違い

- 同じ国家公務員でも、「総合職」と「一般職」では、試験の形態に大きな差があります。
- 総合職は将来の幹部候補生として、政策の企画・立案など重要なポストに就く人材として採用され、他省庁への出向や国際交渉など様々な経験を通じて本省庁の幹部となることが期待されるのに対し、一般職は、国の施策の実施や施設・設備の設計・施工などの実務面を技術者としてサポートする一般職員として採用されます。
- 総合職試験では「大卒程度～大学院卒」を、一般職試験は「高卒程度～大卒程度」を対象に試験を実施します。
- 総合職試験は一般職試験に比べて、高いレベルの知識・思考力が必要とされる問題が出題されます。
- 総合職試験では、一般職試験にはない「政策論文試験（大卒程度試験）」や「政策課題討議試験（院卒者試験）」が出題されるなど試験内容にも違いがあります。

■英語スコアへの加点制度

国家公務員総合職試験においては、TOEIC® L&R Test 等の外部試験のスコアにより、最終合格決定の際に 15 点または 25 点が加算されます。詳細は人事院のホームページ、受験案内をご確認ください。

※加点対象となるのは公開テストの結果のみです（学内一斉受験（IP テスト）は対象になりません）

TOEFL iBT	TOEIC® L&R Test	IELTS®	英検	加点
65 以上	600 以上	5.5 以上	—	15 点加点
80 以上	730 以上	6.5 以上	準 1 級以上	25 点加点

※TOEIC® L&R Test、TOEFL iBT は Educational Testing Service(ETS)の登録商標です。

【国家公務員総合職 試験区分別出題科目（専門試験）】

（人事院 HP 2025 年度「国家公務員採用総合職試験受験案内」より抜粋）

デジタル	<p>63題出題 40題解答</p> <p>必須問題 基礎数学⑩、情報基礎⑦、情報と社会③の計20題</p> <p>選択必須問題 次の17題から10題以上を選択解答 計算機科学③、情報工学（ハードウェア）⑤、 情報工学（ソフトウェア）⑤、情報技術④</p> <p>選択問題 選択必須問題と選択問題の合計の解答数が20題となるよう、次の26題から選択解答 線形代数、解析、確率・統計⑧、 数学モデル、オペレーションズ・リサーチ、経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）⑤、 制御工学②、電磁気学②、電気工学③、電子工学③、 通信工学③</p>	<p>選択問題 2 題</p> <p>次の科目から 6 題出題、任意の 2 題選択 計算機科学①、 情報工学（ハードウェア）②、 情報工学（ソフトウェア）②、 情報技術①</p> <p>（注）同じ科目から 2 題選択可。</p>
------	---	---

（※）他の区分については、人事院のホームページ（受験案内）等で確認してください。

（※）本講座では、情報系の専門科目を正課授業にて履修していることを前提に設定しています。

講座のカリキュラム

■年間スケジュール（予定）

3回生・M1回生												4回生・M2回生					
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
講座ガイダンス	①基礎能力(教養)試験対策(択一・記述)											国家総合職1次試験	③国家総合職2次対策	国家総合職2次試験	国家総合職官庁訪問	国家一般職1次試験	地方上級職1次試験
	②専門試験対策(択一)																
	④判定模試・模擬模試(無料)																
	⑤進路や受験、学習に関する質問・相談																
	⑥人物試験対策																

■講座内容

- 本講座には「基礎能力試験対策」、「専門試験対策（一部科目）」、「面接試験対策」があります。筆記試験対策だけでなく、人物試験対策にもバランスよく取り組むことが本コースの特徴となっています。
- 国家公務員総合職試験における1次試験（筆記/択一）の合格ラインは、「4～5割」程度となります（試験種や年度により変動します）。満点をとる必要はありませんので、配点の大きい科目を配置し、必要なポイントを最小限の学習で身につける効率的な授業を展開します。
- 地方上級試験や国家公務員（一般職・専門職）試験等における1次試験（筆記/択一）の合格ラインは、例年「4割」程度（試験種や年度により変動します）が想定され、満点をとる必要はありません。必須の科目でしっかり点を稼いで合格するための効率的な授業を展開します。

① 基礎能力（教養）試験対策（択一・記述）・面接試験対策

- 【一般知能】 数的処理、文章理解
- 【一般知識】 社会科学
- 【その他】 教養記述対策、面接対策

基礎能力試験は、ほぼ全ての公務員試験で課せられ、「一般知能分野」と「一般知識分野」に分かれます。本講座では、国家公務員試験の基礎能力試験（教養）で配点の高い「一般知能分野」に重点を置き、「数的処理」、「文章理解」を設定しています。短期修得が難しい分野ですので、講義に加えて、毎日の積み重ねをしていくようアドバイスしています。「一般知識分野」は、人文科学、自然科学などは膨大な出題範囲のわりに配点がかかなり少なく、また2024年度から知識分野は時事問題を中心とした内容に変更されたため、「社会科学」のみを設定しています。

② 専門試験対策（択一・記述）

- 【基礎専門】 工学の基礎（数学）

専門科目は理系の共通科目として設定されることの多い「工学の基礎（数学）」を設定し、それ以外の情報系の専門科目については、皆さんの正課授業で公務員の情報系試験分野に近い科目（以下、参考）の履修（復習）や⑤の学習相談等で対応します。

【参考】 情報理工学部における正課授業関連科目

- 「情報理論」、「情報基礎数学」、「確率・統計」、「情報倫理と情報技術」、「計算機科学入門」、「論理回路」、「プログラミング言語」、「データ構造とアルゴリズム」、「計算機構成論」等

③ 国家総合職2次試験対策

- 【政策論文】 政策研究ゼミ（補講）、政策課題論文対策（補講）※地方公務員試験対策にも役立ちます。

国家公務員総合職試験の2次試験は、記述式試験（政策課題論文/専門記述）と人物試験（面接）です。政策研究ゼミなどの補講を用意し、早期から対策を講じます。人物試験（面接）対策については、キャリアセンター職員が随時相談に乗ります。

④ 基礎力判定試験・公開模擬試験（無料）

11月～2月（予定）には、その時点での実力を知り、また今後の学習計画に活かせるよう「基礎力判定試験」を実施します。また、3～4月（予定）には、積み重ねてきた知識をアウトプットする練習の場として、また本試験直前期に自分の実力を確認し、最後の追い込みをかけるための機会として試験種別の「公開模擬試験」を実施します。いずれも学内で、無料で受験でき、教室で受験された方には成績表を返却します。

科目名	試験名	回数	実施時期（予定）
基礎力判定試験	基礎力判定試験	3	12月、1月、2月
公開模擬試験	公開模擬試験国家総合職	1	1月
	公開模擬試験裁判所一般職	1	3月
	公開模擬試験国税専門官	1	3月
	公開模擬試験国家一般職	1	4月
	公開模擬試験地方上級	1	4月

※基礎力判定試験・公開模擬試験は土曜日または日曜日などに3キャンパス同時実施予定。

※感染症の拡大状況などによっては日程や場所を変更する場合があります。

⑤ 進路や受験、学習に関する質問・相談

学習に関しては講師へのメールによる質問・相談も可能です。また、エクステンションセンター窓口にて、進路や受験に関する相談も随時受け付けています。

⑥ 人物試験対策

公務員合格体験報告会、集団討論練習会、OBOG 懇談会、公務員受験ガイダンス、公務員業務説明会、直前期対策、国家総合職1次合格者ガイダンス、国家総合職官庁訪問事前ガイダンス、京都府・滋賀県受験対策集団討論実践練習会など（予定）

筆記試験対策にとどまらず、近年の公務員採用試験で重視されている「面接試験」や「集団討論」等への対策を目的に「人物試験対策講座」を開講。皆さんの合格力アップに向けて全力でサポートしますので、積極的に活用してください。日程詳細は別紙を参照してください。「人物試験対策講座」とは別に、学生が主体となり、グループで学習や志望先の研究等を行う「自主ゼミ」の仕組みも提供しています（別途案内）。

＜エクステンションセンターにおける個人情報の取扱いについて＞

エクステンションセンターが取得した個人情報は、個人情報保護に関する法令および「学校法人立命館プライバシーポリシー」に即して厳格な管理の下に取り扱います。

＜利用目的＞

取得した個人情報は、以下の目的のために利用します。

- 受講証・出席簿等、講座運営のために必要となる書類及び名簿類の作成
- 休講・日程変更・出欠・貸出物品の返却等の連絡業務、受験および可否等の確認、進路・就職状況の確認業務
- 講座に関する連絡および指示のための講師への情報提供
- エクステンションセンターが実施するガイダンス・セミナー等の案内
- 個人を特定できないように配慮した形式による統計資料の作成
- エクステンションセンターのサービス改善や新たな講座・プログラムの企画・開発・設計のための資料作成等
- その他、エクステンションセンターの管理・運営に関する業務に必要な事項を処理するため

＜個人情報の提供を伴う業務委託＞

本学は、個人情報の取扱を含む業務の一部を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

＜個人情報の第三者提供＞

エクステンションセンターは、本人の同意なしに個人情報を第三者に開示・提供することはありません（法令により開示が求められた場合は除きます）。

受講科目について

■科目一覧

科目名		科目詳細	回数	情報系講座のみ (Web Live配信)	情報系講座のみ (合格Web)	法文系講座と共通 (Web Live配信 or 対面実施)	法文系講座と共通 (合格Webのみ)		
基礎科目	教養科目	クラスセミナー	クラスセミナー	8	●				
		数的処理	判断推理	判断推理	8			●	
			図形	図形	6			●	
			数的推理・資料解釈	数的推理・資料解釈	10			●	
			判断推理択一演習	判断推理択一演習	1			●(対面)※2	
			図形択一演習	図形択一演習	1			●(対面)※2	
			数的推理・資料解釈択一演習	数的推理・資料解釈択一演習	1			●(対面)※2	
			数的処理直前対策	数的処理直前対策	2			●	
		文章理解	文章理解 ※1	文章理解 ※1	1				●
			文章理解択一演習	文章理解択一演習	1				●
		社会科学	政治 ※1	政治 ※1	5		●		
			経済 ※1	経済 ※1	4		●		
			社会 ※1	社会 ※1	3				●
			政治択一演習	政治択一演習	1		●		
			経済択一演習	経済択一演習	1		●		
			社会択一演習	社会択一演習	1				●
		教養記述対策	時事白書対策講義	時事白書対策講義	4			●	
			教養記述対策講義	教養記述対策講義	1			●	
		教養記述対策答練	教養記述対策答練	教養記述対策答練	2			●(対面)※2	
			工学の基礎(数学)	工学の基礎(数学) ※1	工学の基礎(数学) ※1	5		●	
		工学の基礎(数学) 択一演習 ※1		工学の基礎(数学) 択一演習 ※1	1		●		
		応用科目	試験対策	政策研究ゼミ	政策研究ゼミ	5			●
				政策課題論文対策	政策課題論文対策	3			●
面接試験・官庁訪問対策講義	面接試験・官庁訪問対策講義			4			●		
判定・模擬試験	基礎力判定試験	基礎力判定試験(基礎能力試験)	3			●			
	公開模擬試験国家総合職	公開模擬試験国家総合職(基礎能力試験)	1			●			
	公開模擬試験裁判所一般職	公開模擬試験裁判所一般職(基礎能力試験)	1			●			
	公開模擬試験国税専門官	公開模擬試験国税専門官(基礎能力試験)	1			●			
	公開模擬試験国家一般職	公開模擬試験国家一般職(基礎能力試験)	1			●			
	公開模擬試験地方上級	公開模擬試験地方上級(基礎能力試験)	1			●			

※1: 1回あたり50分講義です。

※2: 対面実施の講義も「合格Web」にてWeb視聴可能です。

講座を受講するにあたって

1. 講座日程について

講義は、撮影した講義を配信いたします。講義の配信スケジュールを参考に学習を進めてもらいます。
まず、受講するにあたり、申し込み後にお送りしたメールにあるリンク先より、「クラスセミナー1」の動画を視聴してください（レジュメもあり）。その中で、講座の受講方法や講座日程等について説明があります。

※クラスセミナーや判定試験・模擬試験実施日など一部例外もあります。
詳細はエクステンションセンターHP等にありますが日程表で確認してください。

2. 教材費について

講座で使用する教材は、シラバス内に掲載しています。
教材費は、講座受講料に含まれておりませんので、別途、購入していただく必要があります。

※教材は、立命館生協にて販売します。
※教材の購入時期（立命館生協への入荷予定）に関しては、メール等で連絡します。
販売期間が過ぎたものに関しては、カウンターでの注文になりますので、早めに購入してください。
※講義開始後で立命館生協にテキストの在庫が無くなり、注文に時間がかかることがあります。
早めに購入してください。

3. 講座のWeb配信について

本講座では、欠席時のフォローや復習のため下記2つのツールを提供します。それぞれの詳細な特徴や利用方法は、初回のクラスセミナーでお伝えします。

●Web Live 配信

本講座のWebライブ講義を録画して、翌日よりオンデマンド配信します。

●合格Web配信

東京水道橋校の有名講師陣が撮影した講義を視聴できます。事前撮影した映像なので、本講座の講義配信日より前に視聴できる科目もあり、予習にも役立ちます。いつもとは異なる講師の講義を見ることで、新たな気付きがあるかもしれません。ただし、クラスセミナーなど一部講義の配信はありませんので注意してください。

2025年度公務員講座のWeb動画・レジュメ等の配信は、2026年10月31日（土）をもって終了となります。

4. 専用自習室の使用について

国家公務員総合職や外務省専門職を受験予定の受講生に対しては、個別学習机や共有PCなどを備えた自習室（有料/選抜制）を用意し、学習に集中できる環境を提供しています。
※自習室は、感染症拡大防止などの観点から提供できない可能性もあります。

〔環境〕

個別学習デスク、脇机（カギ付き）、共用PC（資料）スペース、各種公務員試験過去問題、各種情報誌、体験記など
※配架している資料や備品については、各キャンパスで異なる場合があります。

5. 注意事項

(1) 受講資格について

- ・エクステンション講座の受講対象は立命館大学生・院生・卒業生・修了生・APUからの交流学生（セメスター単位もしくは1年単位での交流学生に限る）です。
- ・非正規生は原則として受講できません(本学卒業・修了後に非正規生として在籍している方は、本学卒業生、修了生として受講できます)。
- ・留学中、休学中、停学中、退学・除籍の方も受講できません。ただし、「留学中」であっても学籍異動が発生する学内の留学プログラムで留学をしている場合は、派遣前後の本学に通学できる期間は受講できます。

(2) 受講ルール

- ・対面（教室）で受講する際にはスマートフォンなどで『受講証』（web）を直ぐに提示できるようにしてください。
- ・受講生は講座の円滑な運営にご協力ください。

※太原出版（株）が発行する『受講証』（Web）が本講座の受講生であることを証明する受講証となります。本来、大学から発行する受講証を兼ねるものになり、演習や模試でも『受講証』（Web）に記載の個人コードが必要になります。

(3) 禁止事項

- ・いかなる場合も受講生が受講証を他人へ貸与・譲渡することはできません。
- ・本講座で使用するテキスト・教材・Web配信等の複製及び第三者への提供を禁止します。
- ・講義の録音・録画・撮影を禁止します。
- ・受講生が講座運営の妨げ及び他の受講生の妨げとなる行為は禁止します。
- ・受講申込をしていない者及び受講生が登録外のエクステンション講座を受講することを禁止します。

(4) 指導及び利用の停止について

- ・受講規則、不正受講等その他運用ルールに違反した者に対し、指導を行います。
- ・エクステンションセンターによる指導にもかかわらず、受講生の行動に改善が見られない時には、受講契約を解除する場合があります。

(5) 教室変更・日程変更などの連絡事項について

- ・受講生への日程・教室・実施形態（対面からオンライン講義へ変更するなど）の変更、休講等のお知らせは、大学からメール配信、講師からは「Mobile-O-hara」で行います。大学からのメールや「Mobile-O-hara」は日頃から確認するように心がけてください。

※「Mobile-O-hara」は別途案内します。

(6) 受講解約／受講料の返金について

エクステンションセンターが開講する講座については、一旦受講料の支払いを終えたものに関しては、原則として解約は受け付けません。正課授業や正課外の活動と両立できるのか、また学習計画や受講目的などについて、しっかりと考えた上で申込をおこなってください。

やむを得ない事情により解約する場合、所属キャンパスのエクステンションセンター窓口にて申し出てください。解約条件（下記）に従って解約を認め、未受講分の受講料から手数料・振込手数料を差し引いた金額を返金します。なお、講座運営の妨げとなる行為や迷惑行為、他の受講生への妨害行為などのため、エクステンションセンターから受講登録の取り消し・解約処分を受けた場合、受講料は返金しません。

〔解約条件〕

- 1) 講座開始日前までに所属キャンパスのエクステンションセンターで「解約申出書」を提出した場合
原則として、受領済み受講料の全額を返金
- 2) 講座開始日以後の解約
 - ①解約する場合の返金額は未提供部分の受講料相当額から、解約手数料として未提供部分の受講料相当額の20%に相当する金額（上限5万円）を控除した残額（百円未満切捨）。
 - ②未提供部分の受講料相当額は以下の算式により計算。
未提供部分の受講料相当額＝受領済み受講料×（受講月数（注1）－経過月数（注2））÷受講月数
（注1）受講月数：開講日の属する月（2025年5月）から最終講義日の属する月（2026年5月）までの月数
（注2）経過月数：開講日の属する月から「解約申出書」の提出があった日の属する月までの月数

※「解約申出書」提出時は、①学生証、②返金振込先銀行口座（受講生本人に限る）の支店名・口座番号が分かる通帳やキャッシュカードなどのコピーをご持参の上、③受講証（Web）をスマートフォンなどでご提示ください。

申込のステップ

Step 1	ガイダンス・要項確認	<p>エクステンションセンターHP秋募集ページ https://www.ritsumei.ac.jp/extension/public/news/detail/?id=591 ガイダンスや講座要項を通じて講座内容を確認してください。</p> 
Step 2	<p>受講申込</p> <p>10/1(水)～10/24(金)17:00迄</p>	<p>受講する意思が固まれば、以下、受講申込みフォームから申込んでください。 https://x.gd/8jUa3 ※受講意思が固まった方はお早めにお申し込みください。 申込手続きに一定の時間を要します。 ※申込期日を過ぎた場合(10/24以降)に申込みを希望する場合、 事前にBKCエクステンションセンターにお電話でご相談ください。</p> 
Step 3	申込手続・受講料払込	<p>大原出版(株)からメールにて申込手続の案内があります。 案内にしたがって大原出版(株)宛に受講料の銀行振込を行ってください。 ※入金が確認できなければ受講できません。できるだけ早く受講料振込を行ってください。</p>
Step 4	申込完了	<p>受講料が振込まれたことを確認できたら、 大原出版(株)から『受講証』(Web)が発行されます。</p>
Step 5	受講開始	<p>まず、申込後にお送りするリンク先から、「クラスセミナー1」の動画を視聴し、 受講方法や講座の流れについて理解してから、受講を進めてください。</p> <p>また、対面企画として以下クラスセミナーを実施しますので、必ずご参加ください。</p> <p><クラスセミナー4> ■日時:10月27日(月) 18:30～20:00 ■場所:OIC H202 (対面実施)</p>

※申込時の注意点※

Step4 をもって申し込み手続き完了となります。申し込み期間内に本申込み
 (受講料払込)を終えていない場合は、受講申込をキャンセルします。

【エクステンションセンター】 <http://www.ritsumei.ac.jp/extension/>

問い合わせ先：BKC キャリアセンター（プリズムハウス2階）

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1

TEL(077)561-2853 / MAIL: bkohmuin@st.ritsumei.ac.jp

※衣笠・OICの学生でご質問等がある方は、電話・メール等でお問い合わせください。

期 間	窓口時間	休憩時間
	月～金 ※1	
短大-授業期間中	9:30～17:00	11:30～12:30
長期休暇中/試験期間中	9:30～17:00	

※1. 土曜・日曜・大学が定める休業日は閉室します。

毎週水曜日は業務会議のため、休憩時間終了後に窓口業務を開始します。

※2. その他、窓口時間に変更がある場合は、エクステンションセンターの掲示板やHPにてお知らせします。